



2009年度の環境会計の実施について

2009年度は投資額が28億円、費用79.1億円、環境保全コストは合計107.1億円、環境対策に伴う経済効果は、109.7億円となりました。2008年度と比較すると、環境保全コスト全体では、3億円増加しました。

主な要因は、撤去通信設備の適正処理及びリサイクル費用が

増加した為です。

経済効果については、2008年度と殆ど変わりませんでした。

物流効果の総リサイクル量は、4.5万tの増加となりました。

リサイクル業者様や自助努力によりリサイクル率が向上した為によるものです。

環境保全コスト

(単位：億円)

環境省ガイドライン分類	主な活動内容	2009年度		2008年度	
		投資	費用	投資	費用
1. 事業エリアコスト		28.0	74.3	27.0	61.6
	(1)公害防止コスト	0.0	2.2	0.0	3.3
	(2)地球環境保全コスト	28.0	1.7	27.0	1.9
	(3)資源循環コスト	0.0	70.4	0.0	56.4
2. 上・下流コスト	電話帳リサイクル、容器包装リサイクル	0.0	0.9	0.0	1.0
3. 管理活動コスト	ISO14001維持、環境PR	0.0	3.9	0.2	4.3
4. 研究開発コスト	環境関連研究開発	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 社会活動コスト	地域社会への貢献	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 環境損傷コスト	環境損傷の修復	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	28.0	79.1	27.2	66.9

環境保全効果(経済効果)

(単位：億円)

項目	2009年度	2008年度
1. 省エネルギーによる費用削減	9.4	8.1
2. リサイクルにより得られた収入額	15.5	21.9
3. リユース推進に伴う費用削減額	78.3	75.1
・撤去通信設備	78.3	75.0
・オフィス内廃棄物	0.0	0.1
4. 電子化に伴う郵送費削減額	6.5	4.5
合計	109.7	109.6

環境保全効果(物流効果)

項目	2009年度	2008年度
省エネルギー施策によるCO ₂ 排出削減量(万t・CO ₂)	3.0	2.0
総リサイクル量(万t)	37.15	32.62

1. 集計対象範囲

・NTT西日本グループ51社及び、NTTビジネスアソシエ西日本を対象としています。

2. 集計対象期間

・2009年度データ：2009年4月1日～2010年3月31日、2008年度データ：2008年4月1日～2009年3月31日

3. 集計方法

・環境省の「環境会計ガイドライン2007年版」に準拠した「NTTグループ環境会計ガイドライン2007」に基づいて集計しました。

